

東京春祭を楽しむ(37)

—ライブ配信(37)—

1. 始めに

Web 情報紹介【2024No.48】で紹介した東京春祭 24 のプログラムから興味を引いたプログラムを視聴していきます。

2. 東京春祭ライブ配信の試聴方法

試聴方法は PC から Sonica DAC への送り出しですが、昨年から下記の変更がなされています。

スピーカーアキュライザーの位置変更

LAN アキュライザーの導入 2ヶ所

LAN iSilencer の導入 2ヶ所

Crystal EpL の導入

さらに、その後、ルーターにフェルトダンプ LAN 端子を挿しています。

プログラムは次のとおりです。

公演日時・会場

2024/3/23 [土] 14:00 開演 [13:30 配信開始]

旧東京音楽学校奏楽堂

出演

ヴァイオリン：中野りな

ピアノ：ルウオ・ジャチン

曲目

シューマン：ヴァイオリン・ソナタ 第1番 op.105

パガニーニ：「こんなに胸騒ぎが」による序奏と変奏曲 イ長調 op.13

(ロッシーニの歌劇《タンクレディ》より)

パガニーニ：24 のカプリース op.1 より

第4番 ハ短調

第24番 イ短調

ショパン：スケルツォ 第2番 変ロ短調 op.31

サン＝サーンス：ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ニ短調 op.75



3. 東京春祭ライブ配信の試聴結果

シューマンのヴァイオリン・ソナタ第1番は、いかにもシューマンらしい曲です。パガニーニの「こんなに胸騒ぎが」による序奏と変奏曲は、オペラからの編曲でパガニーニらしいスリリングな難曲です。

パガニーニの24のカプリースの第4番と第24番は、ヴァイオリンの無伴奏で、これも良く知られた難曲です。

ショパンのスケルツォの第2番は、お馴染みの曲でジャチンのピアノの独奏です。

サン＝サーンスのヴァイオリン・ソナタ第1番は、これもサン＝サーンスらしい難曲です。

アンコール曲はクライスラーのウイーン奇想曲でした。

昨年からネットストリーミング再生に関しては、上記のような対策を積み重ねてきており、様変わりしています。パガニーニの24のカプリースのような曲でも、ショパンのスケルツォの第2番でも、昨年とはまったく違い、ヴァイオリンの緻密さ、ピアノの打鍵のリアルさがでています。





4. まとめ

東京春祭のライブ配信の受信ができ、昨年との比較では、スピーカーアキュライザー、LANアキュライザー、LAN iSilencerの導入、Crystal EpLなどの対策が功を奏して様変わりしていることが分りました。

以上